呉羽丘陵　12 月コースの見どころ紹介

●サザンカとツバキの違いは？

サザンカとツバキはどちらもツバキ科ツバキ属に属する植物で、学名はそれぞれ Camellia sasanqua と Camellia japonica といい、日本を原産とする樹木。サザンカは日本の固有種ですが、ツバキは台湾や朝鮮半島にも自生しています。サザンカは、花びらが一枚一枚バラバラに落ちるのに対し、ツバキは１つの花がそのまま丸ごと下に落ちます。『鳥媒花』といって、昆虫の代わりに、鳥が受粉を担います。

●カラタチバナ（群落多し）

サクラソウ科ヤブコウジ属の常緑小低木。果実は 11 月頃に赤色に熟し翌年の４月頃まで残る。マンリョウ（万両）、センリョウ（千両）、カラタチバナ（百両）、ヤブコウジ（十両）と言われます。

●カラスウリの実（呉羽トンネル上）

日本原産、ウリ科。青い実は食べられます。果実・種・根ともに生薬。種は「打ち出の木槌」の形で特に関西地方ではお財布に入れる方もいらっしゃいます。

●フユイチゴ　（多数あり）

キイチゴの仲間。果実が晩秋から初冬に熟すためフユイチゴと命名。自生するのは冬季でも積雪のないような低山や沿海の林床ですが、緑色の葉と赤い実のコントラストが美しく、庭園に使われたりします。日本以外では中国や朝鮮半島に分布します。

●ヤツデの花

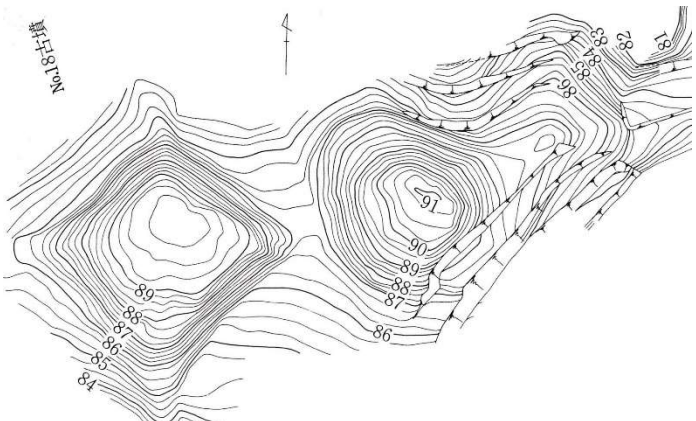
元は海岸に自生。庭園樹。もヤツデの葉を乾燥したものは、漢方薬として、風邪の症状に使用されます。また、乾燥葉をお風呂に入れて薬草風呂にすると、リウマチや痔に効くとして使用されます。学名は Fatsia japonica で日本の固有種です。

●森の中の白い大きなキノコはどれ？・・・

オオシロカラカサタケ　毒

オニフスベ（漢方）

オオイチョウタケ。特に毒性強いといわています

●古墳の路・・・

亀山四隅突出型方墳に、以降の前方後円墳が重なっています。四隅突出型方墳は、出雲と北陸地域だけに見られる特徴的な形で、出雲王権の影響が強いと考えられています。